

お手入れについて

スクリーン面に汚れが生じた場合は、水を含ませたやわらかい布を十分に絞り拭き取ってください。その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
(汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤にやわらかい布をひたし、十分に絞り拭き取ってください。)必ず洗剤は水を含ませた布で完全に拭き取ってください。

※ベンジン・シンナー等の油性のものや、硬い物を使用した場合、生地への破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理が必要な場合は販売店または営業担当者までご連絡ください。

廃棄

この製品を廃棄するときは専門業者にご依頼ください。また、廃棄業者にこの「取扱説明書」もご提示ください。

■主要部品の材質

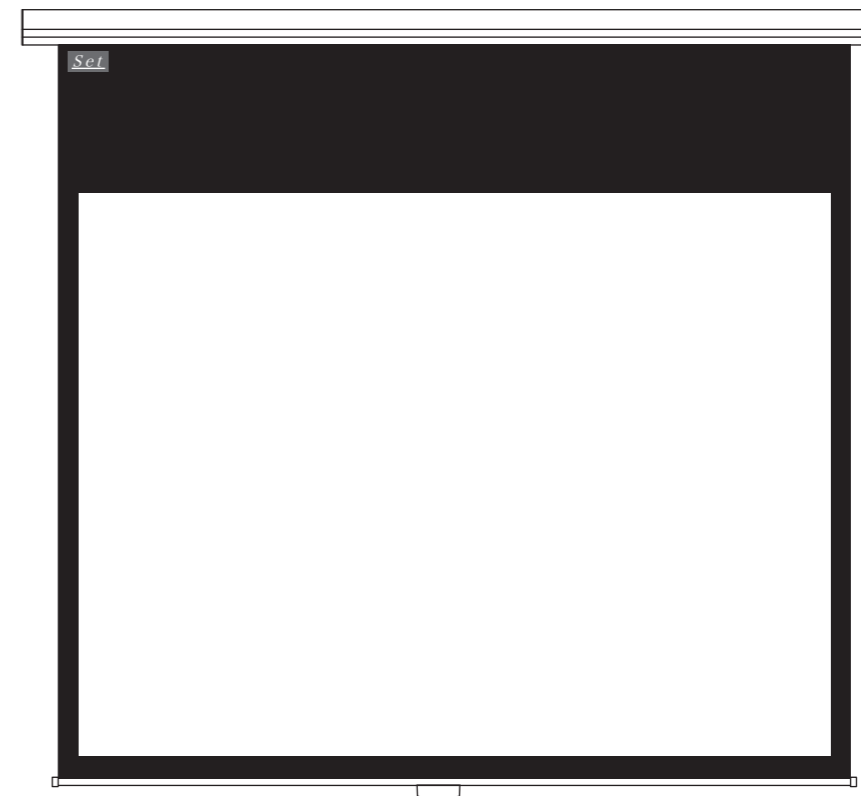
・スクリーン面	塩化ビニール樹脂
・スクリーン本体 ケース	アルミ
・ベース金具	鉄

取扱説明書について

この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店までご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。この製品を譲渡される場合は、必ず次の所有者にこの説明書を添付して譲渡してください。

取扱説明書


手動スクリーンケースタイプ




この度はお買い上げいただきありがとうございます。






安全に使用していただく図記号の説明

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。

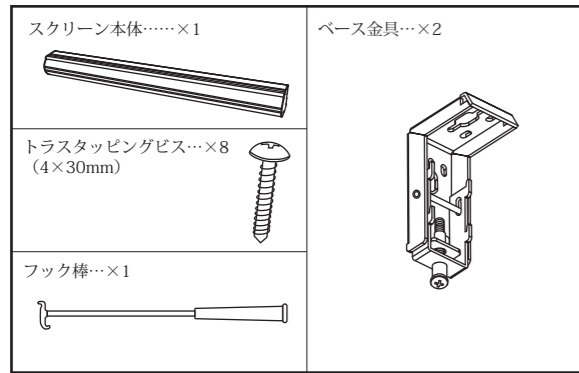
 記号は禁止事項を表しています。

 記号は行為を指示することを表しています。

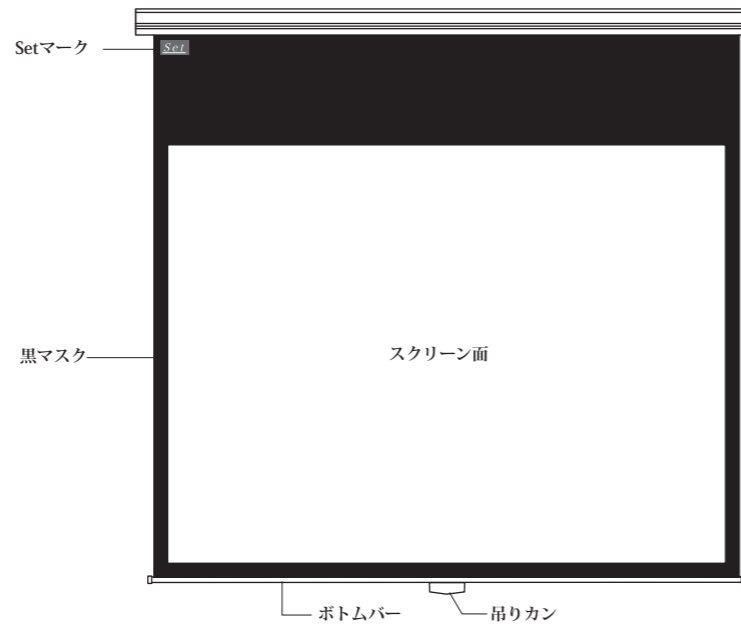
 警告	 <ol style="list-style-type: none"> スクリーンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。 取り付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。 ベース金具の内部のツメに確実に掛かっていることを確認してください。落下の危険があります。
	 <ol style="list-style-type: none"> 部品、製品を分解しないでください。落下の危険があります。 上部黒(白)マスク部分を400mm以上出すと、「Set」マークが黒(白)マスク部分左上に現れますので、その位置より引き下げでの使用はしないでください。スクリーン面が落下する危険があります。 スクリーン面にぶらさがったり、物を掛けたりしないでください。また、無理な力を加えないでください。本体、スクリーン面が落下する危険があります。
 注意	 <ol style="list-style-type: none"> スクリーン面を昇降させる際には、周囲を確認してから操作してください。スクリーン面が人や物に接触する可能性があります。危険です。 使用後は必ずスクリーン面をケースに収納してください。長期間使用した状態で放置すると、スクリーン面の品質を損なう恐れがあります。

スクリーンの取り付けを行う方へ

(1) 付属品の種類・数量の確認



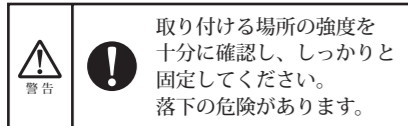
(2) 製品各部の名称



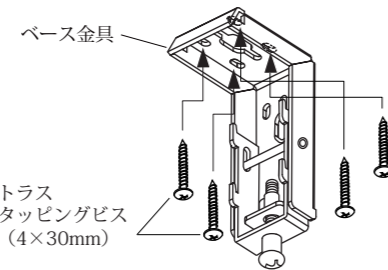
スクリーンの取り付け方法

(1) ベース金具の取り付け

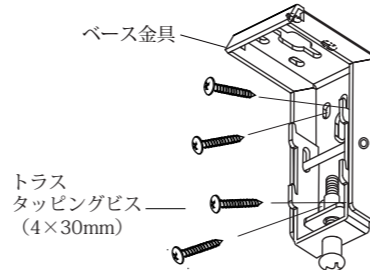
ベース金具をトラスタッピングビス(4×30mm)で天井や壁面に平行に取り付けてください。



A. 天井に取り付ける場合

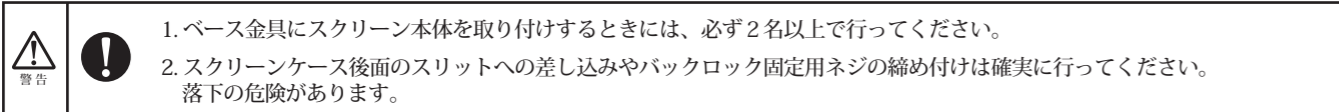
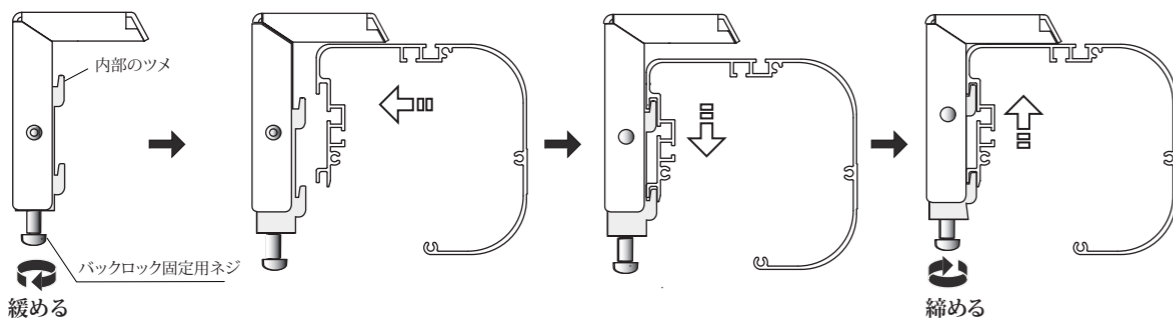


B. 壁面に取り付ける場合



(2) スクリーンの取り付け

バックロック固定用ネジをいっぱいまで緩めてください。スクリーン本体の天面を、ベース金具の上面に押し当てた状態でベース金具に当たるまで後ろへスライドさせます。スクリーン本体後面にあるスリットにベース金具内部のツメが入る様にスクリーン本体を下げて、バックロック固定用ネジをいっぱいまで締め付けてください。



スクリーンの使用方法

(1) スクリーンを使う

付属品のフック棒を吊りカンに引っ掛けて、スクリーン面をゆっくりと引き下げてください。一定の間隔でストッパーが作動して止まります。(ストッパーは巻き上がる時に作動します) 幕面上部にSetマークが見え、ストッパーが作動する位置が推奨使用位置です。

(2) スクリーンを収納する

吊りカンを手で持ち、ストッパーが作動している状態から引き下げ、その位置で離すと自動的にスクリーン面はゆっくりと巻き上がります。

※巻き上げ時、最後までスクリーン面が上がりきらない場合があります。故障ではありませんので、お手数ですが操作を繰り返し行ってください。

